三和新報

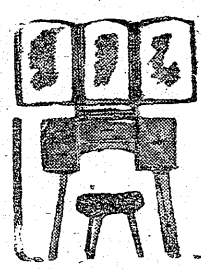
THE SANWASHIMPO

10月27日（木曜日）

第457号（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料1カ月50円

発行所 三和新報社 平市田町 電話1053



家具と漆器 あるが家具店 平市鎧倉223番

各地に堤防決壊、土砂崩れ きのう、大雨損害百万円

二十六日早朝から降り出した雨は正午ごろから強雨となり石城地方では二十七日朝九時までに最大雨量一四〇・五ミリ（県園芸原種農場調べ）に達した。このため石城地方の各河川が一せいに氾濫したため堤防の決壊、田畑の冠水が激しく一時は交通が遮断された、平市大字豊間字薄井地内国道（磐城豊間、四ツ倉線）は三十米にわたつて土砂がほう壊したため、自動車五台が立ち往生し、地元豊間消防団員約五十名が出動し、崩れ落ちる危険をおかして除去作業に当り夜半までにようやく開通したなどの大騒ぎだつた。

廿七日平土木事務所だけに入つた情報だけでも土砂崩れ二カ所、堤防の決壊一カ所、道路冠水二カ所で約百萬円の損害をこうむつた。主な災害個所は次の通り。

▽市平大室地内で高さ約八米の山が崩れ道路を遮断。

▽平市大字豊間字薄井地内国道三十米にわたつて土砂が崩れ、交通遮断し同夜半開通。

平市大字中山字薬谷地内滑津川が氾濫し、堤防二十米決壊。

▽平市高久地内江名、平線国道大カ所、延長約三キロに土砂崩れで交通遮断、二十七日朝六時開通。

また磐城市矢田川が氾濫し、同市字住吉、大原、原木田、野田地内湯本一小名浜間国道に冠水し一時交通が止つた。

燈台道路にガケ崩れ

二十七日早朝、平市大字豊間字船付地内の塩屋崎燈台に通ずる道路が昨日の豪雨のためガケ崩れし交通不能となつた。場所は同燈台に通ずる高さ十メートルの地点で、道路巾五メートルに土砂五十リーベがくづれかかつたもので、消防団が出動して復旧作業中、また同字寺前の農道に架つている巾二メートルの土橋が流出され同地内の水田二十歩が冠水した。

湯本一小に表彰旗

交通安全に協力

常磐市湯本一小では去る五月一日から通学班を編成児童の交通事故防止に尽力してきたので二十六日県警察本部ならびに県交通安全協会から表彰旗をおくられた。通学区域二十カ所を七班にわけて通学班を編成し父兄が班長となつて登校、退校時に対面交通指導を行つてきたもの。

交通安全表彰

常磐署では三十一日午後一時から会議室で県警察本部長ならびに交通安全協会々長賞の伝達交付式を行う。

渡辺長作氏（六七）は民間協力賞、須藤新助氏（六三）は優良運転者賞作山平永氏（四七）は交通安全功労賞で村上社善氏（三七）は標識設置協力者として署長賞をおくられる。

なお同署では二十七日午後六時、二十八日午前九時から公民館に運転者講習会を開く、講師は運輸大臣指定整備士試験官白鳥清光氏で「運転技術について」、「事故防止五十訓について」は同署の小野警部補。

肢体不自由児に職業補導

三十日に不自由児協結成

福島県肢体不自由児協会の結成式は来る三十日午後一時から平市公民館で挙行する。同協会は全国一斉に結成されることになつているが、本県では福島県整肢療護園後援会を解消し同後援会に変つて結成したもので、肢体不自由児の職業補導と治療に当ることになる。なお名誉会長は大竹知事、会長諸橋平市長が予定されている。

二十七分から同四十分ごろまでの間に、平駅待合室で上衣ポケットに入れていた、現金三千円と鉄道診療券在中の黒皮製二ツ折り財布をすられたと、平鉄道公安室に届出た。

課対抗野球

平市役所

平市役所各課対抗野球試合は二十九日午後一時から、Aクラスは市営グランド、Bクラス及び決勝戦は平高グランドでそれぞれ開く組合せ次の通り、

▽Ⅱ①水道－農務、商工、市民（混成）②土木、衛生、保険（混成）－競輪、教委、観光（混成）

▽B①総務－税務②福祉事務所－建築、会計、収入役室（混成）③②の勝者－全支所。

未亡人会のあり方協議

石城地方未亡人会連絡協議会では二十八日午前十時から石城財務事務所で総会を開き二十一日秋田市で行われた東北、北海道ブロック会議の報告及び未亡人会のあり方相互扶助などについて協議する。

期斗協議

あす、古河労組議員会

古河好間炭鉱労組の代議員大会は二十八日午後三時から労組会議室で開き、炭労大会に提出する期末手当、賃金斗争、労基法改悪反対などの議題を協議する。

勿来市内小教務主任会

勿来市内七小学校の第一回教務主任会議は二十六日午後一時から植田小で開き、教育の組織及び各校平均水準などについて協議した。

保育協議會

石城郡保育協議会では二十九日午前十一時から川前村江田地内で観察談話会をひらき植物採集なども行う。

暴力土工ショゲる

既報＝二十五日夜義兄宅に酒に酔つて暴れこみ、逮捕に向つた巡査にサシミ包丁で斬りつけて手の甲などに全治一カ月の重傷を負わせ、住居不法侵入、暴行傷害、器物き棄、公務執行妨害容疑で平署に捕つた平市大字赤井字大根内前科三犯土工矢野恒男（三七）は、平署で犯行当時の凶暴さもどこへやらガラリと変つたおとなしい態度で取調べ係官に次のように犯行を自供した。

二十六日は土工仲間で紅葉がりをやり、二十人で約七升の酒を平げた、酔つた足で光男のところに行つたが留守だつたので志のところで些細のことからカツとなつて暴れたが酔がさめてみるとトンダ悪いことをしたと思つている。

後藤さん（後藤巡査）にも申訳ないと涙ながらに語つている。

待合室でスリ二件

▽小川村大字高萩字下河原一二〇無職佐々木ノブ子さん（三七）は二十六日午後三時五十分ごろ平駅待合室で現金一千円在中のナイロン製チヤツク付手提袋をすられたと平鉄道公安室に届出た。

▽田人村字玉石二五衣類行商小口直枝さん（四七）は二十六日午後一時やつたが、気分がヨカツタネ。ところが日曜以外は四六時中暗室に閉じこもり、焼付を専門にやつた。九州は大分県の産。実家は百姓でそこの四男坊だつた私は郷里を出るとき母に向つて

愉しき人生

フレンド田中

「一人前になる迄は絶対に家の敷居をまたがぬ」と堅い信念をもつた。一人前になるのが少し遅れて十三年間一度も帰らなかつた。家が恋しくて泣きたいくらいだつたが頑張り通した。片意地張りなのでしようかネ。振り返つてみて苦ながら感心もしあきれもしている。

とにかく東京のメシを食いたい一心でクニを飛び出したのが写真技術と商法を身に付けたから有難い。戦後独立することになり妻が平市出身という因縁で平

二十一の時に上京、当時東京一流の上野広小路にあつた根岸という写真屋に助手入りしたのが満洲事変の勝利に気をよくし世を挙げて歓喜の絶頂にあつた昭和八年だつた。そのころ写真屋の助手を門生と言つた。若かつたし、今と違つてカメラは特殊階級の専用物だつた時代にライカーを肩にかけ野や山をみつめぐり自由、自在にパツパツつと

当時、東京でカメラ熱がボツ、ボツたかまつてきており、この分でいくと、近き将来にカメラは大衆の必需品となるという自信があつた。

都市に流行するのは、地方にも流行するゾ、という簡単な常識をウマク摑えたノサ。そこで東京相場で売るとキツト売れる。それから地方文化向上という大きな指標のもとに東京相場でカメラを売つた。同業者には痛いシゲキだつたろう。だから今も東京相場で売つている。東京相場で売つたつて何も損をするようなことはありませんからネ。商売つてものは、お客さんにメシを食わして貰つていると思わでカメラの店を開こうと部落ちしたわけだ。平にはカメラの材料店だけで専門にカメラだけを扱つている店は一軒もなかつた「よし、カメラ第一主義でいこう」と、この営業方針が見事に的中したというワケサ。

ねばならない、自分の店であつて自分の店でないということサ店を拡げたい、しかし商売に無理が禁物だ。借金までして店を大きくするとそこから必ず破たんがくる。常に田中はお客さんと共にあるフレンド田中〃これが私の店の精神です。またこんなことも思つている。常に求め得られない、手のとどかぬ夢想を起さぬということ。私はこの信条で店を守り、家庭を守り通してきた、今後もこの信条で生きていくつもりだ。

語る人
田中カメラ店主
田中春雄氏

縣演劇コンクール

二十七、二十八日湯本公民館で

第九回県演劇コンクールは二十七二十八の二日間常磐市湯本公民館にひらかれることになつた。二十七日は職場と一般、二十八日は高校の部となつており多数参加をのぞんでいる。

労働者が義捐金

内郷福祉事務所へ

二十七日午前十一時五十分ごろ内郷市福祉事務所を訪れた一見労働者風の男が「頼まれてきた」といつて封筒を安孫子主事に手渡して去つたが中をひらいてみたところ現金五百円が入つており同封の便箋には「少額ですが貧しい家庭の人に差上げて下さい」と書いてあつたのでびつくり追いかけたが姿を見失つた。同所では奇特な人だ

と感激、さがしている。

魚菜市況

廿七日

▽胡瓜一〇〇－一二〇▽白菜二〇－四〇▽人参一〇〇－一二〇▽午蒡五〇－五〇▽ネギ（一把）六－八（植田丸共調）

▽サンマ六〇－七〇▽カツオ三八－四〇▽マグロ七〇－八〇▽冷凍サケ六五－七〇▽キント三五－四〇▽ヤナギ四〇－五五▽ムシ五五－六〇▽マダコ三〇－三五▽ハモ三〇－三五（平丸一市場調）

天気予報

【今晩】北の風晴れたり曇つたり海上風波が高く漁船は注意を要します。

【明日】南の風晴れ、海上遠くなつてやゝ風波が高いでしよう。

11月1日 ▼ 25日

いわき商工業まつり 美人形展示

平市駅前 大通り広場

腕時計・枕時計
オルゴール
スタンド
レコード(LP・EP)
電氣洗濯機

一般電気無線機器販賣
各種モーター・トランス
自動轉車用マグネツトコイル捲替え

時計はやつぱり
金光堂
平市5丁目 電195番

オオヤマ螢光器具の代理店
東陽無線電気工業所
平市月見町 電1609番

ふんわりとした
保温力のすばらしい
スズキの綿
スズキ製綿店
平市新川町
電四二二番

顔より印鑑

日本勧業銀行平支店
預金係
蓬田九子(26)

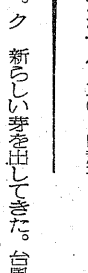
客の応待の上手、下手が直接勤務成績をきめる―それが私の職場です。午後三時、あの重々しい鉄の扉が鎖され、陰気な部屋にコツコツと、堅い床に響く靴音とソロバンをはじく音が規則正しく調和するころが、私たちの職場となるのの明るい職場がたちまちにして一日の入金、出金が区別され、出納係りに集計された結果、もし十円でも間違っていたら、サア大変、一人の係員の間違いから銀行全部のみなさんの、退勤時刻を遅らせてしまう。たとえ三十分でも、それはもう居ても、立ってもいられない深刻な気持ちです。銀行は品物を売るとこでないだけにサービス大事に応待には気をつけております。お客さんの顔をおぼえることでも、一、二度の窓口でお会いしたお客さんの顔を長い間おぼえ賢しとかいわれますが、印鑑の押し具合だけをみて、ニセ小切手を発見した方もございますから常に「名前を知るなら顔より印鑑を」と、言わず語らずの信条になっております。預金のお客さんが数ある銀行の中で、わざわざ私たちの店をお利用して下さるときなど、それはそれは。自分独りの手柄みたいで、うれしいわ、そして預金をどんどんふやして、より多くの方々に利用され、生きたお金になつて良い社会建設のためつかわれること、これが私の夢ですわ。

昨年より格段の進歩
"平おどり"の批評

少しおくればせの観があるが「平おどり」の批評を書くことにする都合で夜の部だけを見たので全体としての批評は出きないが、当らずとも遠からずの評になると思う一言にしてつくせば昨年に比して格段の進歩であり勉強のあとがハツキリと見られるものであつた。師匠連の苦労もさることながら芸妓連の精進のほども並大ていではなかつたろう。夜の部の最大の収穫は「お夏狂乱」であつた、古典ものと異り新作ものは作品を與く性格をつかむことが大切だが、小寿々は作品の性格を表現して余りある出色の出来であつた。お夏の悲しみは舞台一ぱいに感じられた小寿々は後向きになつても踊りをくずさぬ人である。今後の精進を望みたい。鼓子が花道にかかつたとき蛙の声を大きく聞かせたが演出の誤りである。背景が実りの秋で子供達が鳴子を手にしているのに蛙の声はあんなに聞えないはづだ、お夏狂乱に次いでは鏡しをとる。寿美子は格調のある踊りで美くしかつた。しの精に変るところまで序破急のテンポを十分に心得た踊り方であつた。しになつてからは力負けの観があつて惜しい。こうした踊りには公会堂の舞台が狭く気の毒である。

津山の月はお国の出から山三との出合までダレる。演出に工夫が望ましかつた。鈴代の名古屋山三は「吾も昔は槍もつ身」から槍の踊りになるまでがよく、見どころの槍の踊りが冴えなかつたのは残念。小紅はお国役になり切れていなかつたようだ。最後の浮世絵燦爛は結局は顔見せものでいうべきこともない。もつと古典ものを見せてもらいたい。

地方で常盤津連中がよく、小春の相変らぬ美声は楽しませてくれる長唄で望月左吉の太鼓は舞台をしめて呼々としていた。浮世絵燦爛で琴を出したのは新案だが三味線八人に琴一人では不釣合で音の調和がとれない。とにかく意欲のほどを十分にうかがわれる出来であつたことを賞めておく。開幕に当つて組合長が「芸妓は芸術勤労者として精進する」と言つていたが是非そうあつてほしい（K）



ワン公になりてえ

○…平市ではいま飛んにお犬様の狂犬予防注射をやつているが二十四日公会堂前にフサフサした白毛のワン公を連れてきた奥さま注射しているの間、自分の腕にさされたような顔をしているとなど本当に難しいものですね。ある時など、お客さんから親しくお言葉を頂いたが、思い出せず、そうかと言つて知らぬ顔もできず困つたことがあります。

天氣を変える議長さん

○…雨があがつた夜空をみあげながら常磐市の駒木根議員「越田和議長は勉強家だ」と感心した。「全く、ノートまでとつてきた」と合槌うつたら「あれだけ今夜の講座のために用意してくるとは思わなかつた、青年学級振興法までしらべてきたんだから恐れ入る」という。下船尾くんだりから大雨の中をはるばる出かけてきたんだからそれだけでも大へんで雨がカラリとあがつたのも駒木根さんのおつしやるように越田和議長の誠意が天に通じたからうなのかも知れません。とは蔭の声。

みあげた覚悟

○…常磐市の某君に「お嫁さん世話するぞ」といつたら「よかんべお願みします」という。そこで「ゆつくり考えてみな」とさとしたら「もう二年前から考えとるんで煮つめ過ぎた」というので「いいか、オレが仲人なんじやからな」と暗示したら「ボクが気にいつたら、毎晩でもお酒ぐらいのませるよ覚悟のよじや」とかみあげた覚悟じやござせんか。

女子店員急募

一、高女卒程度
一、二十歳前後
一、住込も可

希望の方は履歴書持参のとお出で下さい

青葉薬局支店

平市三十米通り　電二三四番

菊ひらく

折れた小菊

平一小六年　坂本和子

私たちの学校には、音楽クラブ習字クラブなどたくさんのクラブがあります。私は、科学クラブの生物班に、五年の時から入りました。その間にもいろいろと、たのしい勉強がありました。あさがをつくりや、秋の七草集めにいつたこともありました。又その中でも小菊つくりはたのしい勉強だと思います。六月になえをわけてもらい、さつそく、植えました。小菊は、日ごとに、大きくなつてきました。クラブの時は、新芽などをつんだこともありました。小菊はまつすぐにたてるのではなく、横にたれさがらせるので、アサヒモで、しばうたこともあります。クラブの時は小菊の手入れでした。雨がふると、教室で先生の、お話などをきいて、勉強したこともありました。よく晴れた日のこと、私は小菊の所へ行くと、びつくりしてしまいました。それは小菊のさきがおれて、二、三枚の葉がかれていたのでした。私はそのことを、しらせると「だいじようぶ、すぐ芽が出るでしよう。よく手入れをしなさい」といわれ私は、ほつとした。その日から、私は一生懸命に手入れをしました。小菊は新らしい芽を出してきた。台風の時はだいじようぶかなと心配しました。風が強くなると私は、いまにも学校にとんでいきたくなりました。その次の日、学校について見ると、小菊は台風がきたなどということは、わからなかつたようにまつてにこにこしているようだつた。今はつぼみをもつている。私はこれまでにするのに先生と苦心してつくつた小菊を、りつぱにさかせて見せようと、思います。私たちの、学校には温室があるので、冬でもきれいな花をたくさんさかせて、たいと思います。

今晩のラジオ

◎NHK第一放送
六・〇〇＝子供のシンフン、マルコポーロの冒険
六・二五＝新諸国物語「オテナの塔」
六・四五＝四局通信
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝浪花演芸会
八・〇〇＝歌の花ごよみ
八・三〇＝由起子
九・一五＝のんきタクシー
九・四〇＝時の動き
一〇・一五＝邦楽名曲選
一〇・四〇＝浪曲の聞き方味い方
◎ラジオ福島
六・〇五＝空の向うに何がある
六・一五＝スイート・コンサート
六・二五＝劇「リボンの騎士」
六・四〇＝鞍馬天狗
七・一〇＝歌うダイハツ三輪車
七・三〇＝白東紡アワー
八・〇〇＝パンピタンアワー
八・三〇＝浪曲玉手箱
九・〇〇＝平凡アワー
九・三〇＝新平家物語
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一二・〇五＝浪曲名調アルバム
◎平の菊人形放送
午後一・一〇＝午後の希望音楽会
〃六・三五＝夜の案内

今晩の映画（二六ー一）

☆衆楽館　白人酋長（卅一日まで）　炎と剣（六、三〇）
☆世界館　綱渡り見世物侍　姿なき目撃者（六、五〇）
☆平館　自分の穴の中で（六、三〇）　荒木又右衛門（六、三〇）
☆ひかり座（三日まで）文なし横町　青い大陸（六、二六）
☆東映　まぼろし小僧の冒険（六、四五）　統目白三平
☆民劇（廿七日まで）腰抜け二挺拳銃の息子　烙印（六、五〇）
☆緑映劇（廿九日まで）デマカセ紳士　こころ（六、四〇）
☆第二いわき（廿九日まで）楊貴妃　愛の歴史（六、三〇）
☆槙田館（廿九日まで）統宮本武蔵　月夜の傘
☆菊多館（廿九日まで）デカメロン夜話　赤い山
①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

只今上映中
続宮本武蔵
三船敏郎　岡田マリ子
月夜の傘
宇野重吉　田中絹代
29日
うえだ館

11月1日 ▼ 25日
いわき高工菊まつり菊人形展
平市駅前 大通り広場

福島縣卸売酒販組合平支部

平たばこ販賣協同組合

火薬類一切
空氣銃
猟銃
平銃砲火薬店
平市一丁目
電四四一番

東北電力株式會社
平営業所

ポンプ
消火器
磐水社
平市紺屋町
電一七八番